

～香川地域継続検討協議会 設立2周年記念シンポジウム～

開催の目的

四国地方では、南海トラフの巨大地震災害の発生が予想され、東日本大震災規模あるいはそれ以上の被害を受けることが危惧されています。ひとたび大規模地震が発生すれば、被害は個々の組織に止まらず四国地域全体に及ぶ恐れがあり、四国が機能不全に陥る恐れがあります。このような事態に対応するためには、行政、企業、学校、病院等の個々の組織が事業を継続することは勿論ですが、各市町、次に県単位での地域継続、さらに四国全体の継続と考え、各組織が連携して地域継続計画(District Continuity Plan:DCP)を策定推進する必要があります。本取り組みは、国の機関や地方公共団体のみならず、学識経験者や地元経済界など47機関が認識を共有し、四国が一体となって取り組むべき事項を示した「四国地震防災基本戦略」に位置付けられています。

このような観点から、香川大学危機管理研究センターでは、関係機関と連携して、平成24年5月「香川地域継続検討協議会」を設立し、計16回の勉強会と7回の協議会を経て「香川地域継続計画骨子」を作成し、アクションプランの検討を行っています。

本シンポジウムは、香川地域の重要機能を担う組織が集う「香川地域継続検討協議会」の活動報告とあわせて、この取り組みが四国全体の地域継続力向上に寄与するための方策を考える場とするため設けたものです。

日時 平成26年5月28日(水) 14:30~17:20 (受付14:00~)

場所 高松サンポート合同庁舎 低層棟 2階 アイホール

香川県高松市サンポート 3-33

(JR高松駅から徒歩約3分、ことでん高松築港駅から徒歩約7分)

— 定員100名 (参加費無料) —

●開会挨拶 (14:30-14:40)

三浦 真紀 国土交通省四国地方整備局 局長

●第1部 活動報告 (14:40-15:10)

『四国の地域継続力向上を目指して

～香川地域継続検討協議会の活動報告～』

白木 渡 香川大学危機管理研究センター長(工学部教授)

●休憩 (15:10-15:20)

●第2部 パネルディスカッション (15:20-17:10)

『南海トラフ巨大地震に立ち向かう香川DCPのアクション』

コーディネーター 白木 渡 香川大学危機管理研究センター長(工学部教授)

パネリスト 伊賀 達也 四国地方整備局企画部防災課 課長

長尾 一 四国運輸局総務部安全防災・危機管理調整官

岩原 廣彦 香川大学危機管理研究センター 副センター長(客員教授)

藤澤 一仁 香川県 理事 兼 危機管理総局次長

河西 洋一 高松市 総務局次長 兼 危機管理課長

未 定

●閉会挨拶 (17:10-17:20)

早川 茂 香川大学 理事



南海トラフ巨大地震に立ち向かう香川 DCP のアクション
～香川地域継続検討協議会 設立2周年記念シンポジウム～

参加申込書

<FAX の場合は、この用紙に必要事項を記入してそのまま送信してください>

FAX 087-864-2549

■ 申込方法 電話、FAX または E メールでお申し込みください。

TEL 087-864-2544

FAX 087-864-2549

E-mail kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

●ご記入いただく個人情報につきましては、今回のシンポジウム以外の目的で利用することはありません。

ご所属	ご芳名	連絡先	懇親会出欠
			ご出席 ご欠席

※定員になり次第締め切らせていただきます。

（懇親会：シンポジウム終了後 17:30 より）
会 場：サンポート合同庁舎1階食堂
会 費：2,500 円程度

お問い合わせ 香川大学危機管理研究センター

〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20

TEL 087-864-2544

FAX 087-864-2549

E-mail kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp